

会長挨拶

『産婦人科・新生児領域における血栓症との戦い』

第36回 日本産婦人科・新生児血液学会

学術集会会長 田畑 務

(東京女子医科大学産婦人科学講座 主任教授)

この度、2026年6月26日（金）～27日（土）の2日間、一橋大学一橋講堂におきまして、第36回日本産婦人科・新生児血液学会を開催することとなりました。伝統ある本学術集会を主催させていただく機会を頂戴し、大変光栄に存じます。

本学術集会では、日本産婦人科・新生児血液学会のさらなる発展のため、婦人科領域からの積極的な参加も求められてきました。そこで、本学術集会のテーマを「産婦人科・新生児領域における血栓症との戦い」とさせていただきます。婦人科疾患の中でも、とりわけ卵巣癌においては、血栓症を合併する頻度が約10%と高く、癌治療と並行して血栓症への対応が重要となります。また、婦人科疾患に対するホルモン療法に関しては、血栓症を合併する頻度が少なからず報告されています。しかしながら、血栓症の頻度はそれほど高いものではなく、正しい知識に基づき、適切なホルモン療法を行うことが重要です。

さらに、周産期領域における母体および新生児の血栓症についても討議を予定しています。加えて、近年増加している無痛分娩と大量出血への対応について取り上げる予定です。本学術集会が、血栓症に関する正しい知識の普及と治療の向上につながることを願っております。

これまでの本学会では、婦人科領域の血栓症がテーマとなることは比較的少なかったと思われます。今回はより幅広い視点からの学術集会になることを期待しています。会員の皆様方にご満足いただける学術集会を開催すべく努めてまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。多数の皆様のご参加を心よりお待ちしております。